

改訂後			現行		
【使用上の注意】 3. 相互作用 (略) (1)併用禁忌 (併用しないこと)			【使用上の注意】 3. 相互作用 (略) (1)併用禁忌 (併用しないこと)		
薬剤名等 ボリコナゾール (ブイフェンド) タダラフィル (肺高血圧症を適応とする 場合：アドシルカ) マシテンタン (オプスミット) エルバスビル (エレルサ) グラゾプレビル (グラジナ) チカグレロル (ブリリンタ) ドラビリン (ピフェルトロ) アルテメテル・ルメファン トリン (リアメット配合錠) ダルナビル・コビススタット (ブレジコビックス配合錠)	臨床症状・措置方法 これらの薬剤の代謝が促進され、血中濃度が低下するおそれがある。	機序・危険因子 本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A) 誘導作用による。	薬剤名等 ボリコナゾール (ブイフェンド) タダラフィル (肺高血圧症を適応とする 場合：アドシルカ) アモナプリレビル (ファンバゾラ) ダクラタズビル (ダクルインザ) マシテンタン (オプスミット) エルバスビル (エレルサ) グラゾプレビル (グラジナ) チカグレロル (ブリリンタ) アルテメテル・ルメファン トリン (リアメット配合錠) ダクラタズビル・アモナ プレビル・ベクラブビル (シムバール配合錠) ダルナビル・コビススタット (ブレジコビックス配合錠) ドラビリン (ピフェルトロ)	臨床症状・措置方法 これらの薬剤の代謝が促進され、血中濃度が低下するおそれがある。	機序・危険因子 本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A) 誘導作用による。
リルビピリン (エジュラント)	リルビピリンの代謝が促進され、血中濃度が低下するおそれがある。		リルビピリン (エジュラント) リルビピリン・テノホビル ジソプロキシニル・エムトリ シタピン (コムプレラ配合錠)	リルビピリンの代謝が促進され、血中濃度が低下するおそれがある。	
リルビピリン・テノホビル アラフェナミド・エムトリ シタピン (オデフシィ配合錠)	リルビピリン及びテノホビル アラフェナミドの血中濃度が低下するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A) 誘導作用及び P 糖蛋白誘導作用による。	リルビピリン・テノホビル アラフェナミド・エムトリ シタピン (オデフシィ配合錠)	リルビピリン及びテノホビル アラフェナミドの血中濃度が低下するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A) 誘導作用及び P 糖蛋白誘導作用による。
ビクテグラビル・エムトリ シタピン・テノホビル ア ラフェナミド (ビクトルビ配合錠)	ビクテグラビル及びテノホビル アラフェナミドの血中濃度が低下するため、この薬剤の効果が減弱し、この薬剤に対する耐性が発現する可能性がある。		ビクテグラビル・エムトリ シタピン・テノホビル ア ラフェナミド (ビクトルビ配合錠)	ビクテグラビル及びテノホビル アラフェナミドの血中濃度が低下するおそれがある。	
ダルナビル・コビススタット・エムトリシタピン・テノホビル アラフェナミド (シムツァ配合錠)	ダルナビル、コビススタット及びテノホビル アラフェナミドの血中濃度が低下するおそれがある。				
エルビテグラビル・コビススタット・エムトリシタピン・テノホビル アラフェナミド (ゲンボイヤ配合錠)	エルビテグラビル、コビススタット及びテノホビル アラフェナミドの血中濃度が低下するおそれがある。		エルビテグラビル・コビススタット・エムトリシタピン・テノホビル アラフェナミド (ゲンボイヤ配合錠)	エルビテグラビル、コビススタット及びテノホビル アラフェナミドの血中濃度が低下するおそれがある。	
(略)			(略)		

改訂後			現行		
(2)併用注意 (併用に注意すること)			(2)併用注意 (併用に注意すること)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(略)			(略)		
ラモトリギン デフェラシロクス カナグリフロジン ラルテグラビル	これらの薬剤の血中濃度が低下することがある。 ^⑭	本剤がこれらの薬剤のグルクロン酸抱合を促進する。	ラモトリギン デフェラシロクス カナグリフロジン	これらの薬剤の血中濃度が低下することがある。 ^⑭	本剤がこれらの薬剤のグルクロン酸抱合を促進する。
(略)		(略)	(略)		(略)
ソホスブビル レジバスビル・ソホスブビル グレカプレビル・ピブレントスビル テノホビル アラフェナミド		本剤のP糖蛋白誘導作用による。	ソホスブビル レジバスビル・ソホスブビル グレカプレビル・ピブレントスビル テノホビル アラフェナミド		本剤のP糖蛋白誘導作用による。
ドルテグラビル ドルテグラビル・ラミブジン ドルテグラビル・アバカビル・ラミブジン	ドルテグラビルの血中濃度が低下するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素(CYP3A4)誘導作用及びUGT1A1誘導作用による。			
(略)			(略)		
5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与 本剤は小児用の製剤である。 (1)～(4) (略) (5)授乳中の女性への投与は避けることが望ましいが、やむを得ず投与する場合には、授乳を避けさせること。[ヒト母乳中へ移行し、新生児、乳児に傾眠、哺乳量低下を起こすことがある。]			5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与 本剤は小児用の製剤である。 (1)～(4) (略) (5)授乳婦への投与は避けることが望ましいが、やむを得ず投与する場合には、授乳を避けさせること [ヒト母乳中へ移行し、新生児、乳児に傾眠、哺乳量低下を起こすことがある。]		

【改訂理由】

相互作用相手薬の記載と整合性を図るため、また相互作用相手薬の販売が中止されたため、本剤の【禁忌】及び【使用上の注意】の「3. 相互作用」の項を改訂しました。また、記載整備のため、「5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項を改訂しました。

【お問い合わせ先】

久光製薬株式会社 お客様相談室

〒100-6330 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号
フリーダイヤル 0120-381332 FAX. (03)5293-1723
受付時間/9:00-17:50 (土日・祝日・会社休日を除く)

医薬品添付文書改訂情報については、「独立行政法人医薬品医療機器総合機構ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)」に最新の添付文書及び医薬品安全対策情報 (DSU) が掲載されますので、ご参照ください。